

令和元年 **9**月の**思いやり**通信

目次

- (1)  再生可能エネルギー 安定供給に課題
 - (2)  海の森林、温暖化防ぐ？ 藻場再生、CO2 吸収源に
 - (3)  東電や戸田建設 洋上風力で先行
 - (4)  CO2 で素材・燃料生産 商用化へ 16 社連合
 - (5)  太陽光パネル 無料で設置 電力販売し費用回収
-  **エコライフ - 水回りで気を付けたいこと その2 浴室・トイレ**

(1) 再生可能エネルギー 安定供給に課題

* 太陽光や風力、地熱、バイオマスなどの自然の力を利用して発電するエネルギー。

- ・ 発電時に二酸化炭素を排出せず環境負荷が小さくすみます。
- * 日本では、2012 年から政府が再生エネを固定価格で買い取る制度を導入。
- ・ 毎月の電気料金に上乗せされていて、2019 年度は約 3.6 兆円に。
- ・ 新規認定分の事業用太陽光と風力発電については、買い取り対象から外す案も。

(2019 年 8 月 14 日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(2) 海の森林、温暖化防ぐ？ 藻場再生、CO2 吸収源に

* 地球温暖化の要因である二酸化炭素 (CO2) を吸収する海洋の植物に注目度が。

- * 海藻が吸収する CO2 の量が大きなことが分かってきました。
- * 種子植物である海草や、昆布やわかめなどの海藻は、光合成で栄養となる糖を作ります。
- * 国連環境計画 (UNEP) が 2009 年に発行した報告書でブルーカーボンと命名。
- * グリーンカーボン：森林などの陸域で貯留される炭素。
- * 世界で 60 カ国以上が既に、ブルーカーボンの活用に向けて検討。
- * 日本は温暖化ガスの排出を今世紀後半までに「実質ゼロ」とする目標。
- * 日本は海岸線の総延長が世界第 6 位の約 35,000 km。

植物の二酸化炭素吸収 温暖化抑制に高い効果

- * 光合成をする植物は大気中や水中の二酸化炭素 (CO₂) を吸収 (炭素固定)。
 - * 森林では、若い樹木が集まる森ほど吸収量が多くなります。
- (2019年8月18日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(3) 東電や戸田建設 洋上風力で先行

事業者選定へ有望4区域

- * 欧州に比べて遅れていた日本の洋上風力の事業化に向け、企業の動きが加速。
 - * 経済産業省がこのほど国内4カ所を有望区域に選定。
 - ・ 東京電力ホールディングスや戸田建設が先行。
 - * 世界では洋上風力が定着しており、日本も実用化を急ぎます。
- 発電費用 太陽光の3倍 普及進む欧州、遅れる日本
- * 世界の洋上風力の発電コストは、2018年には約13円まで低下。
 - ・ 約4円まで下がっている太陽光に比べると約3倍で、コストはなお高くなります。
- (2019年8月21日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(4) CO₂で素材・燃料生産 商用化へ16社連合

- * 三菱ケミカルやJパワーなど16社は、発電所などから出る二酸化炭素 (CO₂) を回収し再利用する技術の開発で手を組みます。
 - * 世界の発電の内6割程度は、石炭や天然ガスなどの化石燃料が占めます。
 - * 16社は近く「カーボンリサイクルファンド」と呼ぶファンドを立ち上げます。
 - * まずはCO₂を回収し、別の素材に変える技術に力を入れます。
- * 世界の発電量のうち石炭火力は4割。
- ・ 太陽光や風力が普及するドイツでも石炭火力が4割。
- (2019年8月28日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(5) 太陽光パネル 無料で設置 電力販売し費用回収 料金割安、管理で問題も 韓国大手など参入へ

- * 発電事業者が家庭や企業の屋根に無料で太陽光パネルを設置する代わり

に、その電力を購入してもらうというビジネスモデル「第三者所有モデル」。

* 米国では、住宅用の太陽光発電の 6~7 割が同モデルを採用。

* 同モデルの国内市場規模は 2018 年度の 12 億円から、2030 年度には 823 億円に。

* 日本では太陽光パネルのシェア首位の韓国ハンファ Qセルズは、9 月にも一般住宅向けにサービスを始めます。

・ 料金は電力会社から購入するプランよりも安く設定。

* 設備は原則として 10 年後に顧客に無料で譲渡。

* 京セラと関電の共同出資会社、京セラ関電エナジーも、新築住宅など向けに太陽光パネルを設置し、10 年で無料譲渡するサービスを始めます。

* 第三者所有モデルは割安感や利便性をアピールしやすいですが、保守管理上のリスクなどがあります。

(2019 年 8 月 30 日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



エコライフ - 水回りで気を付けたいこと その2 浴室・トイレ

* 浴室の特徴は湿気が多く溜まること。

・ 暗く、カビが発生しやすいのも特徴。

* 冬に寒さを感じる場所です。

* トイレの最大の特徴は臭いがこもること。

・ 居室とは違った温度変化をする場合がほとんど。

・ 居室と比べて夏は暑く、冬は寒くなります。

* お風呂は間取りの位置を検討し、風を通しやすい場所に配置。

* トイレは換気計画をしっかり立て、窓の種類にも配慮。

* ジャロジー窓（ガラスルーバー窓）は使用を避けた方が良いでしょう。

・ 防犯性、気密・断熱性が低いいため。

* 風呂・トイレはほとんどの場合、最も室温の低い部屋。

・ 風呂トイレの最低室温を上げるのに最も効果的なのは、家全体の断熱性向上によって高い断熱性能を持たせること。

* 浴室やトイレは死角になるスペースが多いので、窓を付けるときは注意が必要。

(高垣吾朗氏著「夢を叶える家づくり」より引用・抜粋)

